

## Stage9

### Let's Play and other things animals say

遊ぼうよ——動物たちのことば

作・アリソン・ブランク

#### <読むまえに>

お子さんが読むまえに、この本についてお子さんと話すといいでしょう。

表紙と裏表紙を見てください。ページをパラパラとめくって見出しを見ましょう。お子さんに次のような質問をしてみましょう。

- ・話すことができない動物たちは、どうやってやりとりをしていると思う？
- ・この本で、どの動物のことを知りたいと思う？

自分のスピードでこの本を読めばいいよと、お子さんにいってあげましょう。

#### <ひっかかることば>

ここにあげるのは、お子さんがこの本を読むときにひっかかりそうなことばです。

communicate やりとりをする

discover 発見する

attract ひきつける

vibrate ふるわせる

chemical 化学の

scared こわがった

threatening 威嚇(いかく)する

territory なわばり

#### [p. 1]

遊ぼうよ——動物たちが言っていること

もくじ

|              |    |
|--------------|----|
| はじめに         | 2  |
| カエルは鳴く       | 4  |
| ハチはダンスする     | 6  |
| ヘビはふくらます     | 8  |
| 鳥は氣どって歩く     | 10 |
| キツネザルはにおいをだす | 12 |
| サルは遠吠えする     | 14 |
| イルカは笛を吹く     | 16 |
| ゾウは低く重い音をだす  | 18 |
| ネコはなんと言っているか | 20 |
| イヌはなんと言っているか | 22 |
| 用語集          | 24 |

作・アリソン・ブランク

#### [p. 2]

はじめに

みなさんが毎日言っていることを思い浮かべてください。

<遊ばない？>  
<お腹すいた。>  
<近寄るな！>  
<友だちになろう！>

みなさんはことばで自分が何をしたいか、どのように感じているかを他人に伝えます。ことばまでも「考えや感情を伝えあい」ます。たとえば、

<ほほえむ>  
<笑う>  
<うめく>  
<友だちの腕をかるくたたく>  
<ものを指さす>  
<足を踏み鳴らす>

[p. 3]

動物はみんなコミュニケーション(考えや感情を伝達)します。わたしたちとちがって、動物はことばを使いません。そのかわりに、視覚や、音を使ったり、触覚、嗅覚を利用するのです。

この本でみなさんは、動物がおたがいにコミュニケーションするおどろくべきやりかたを知ることでしょう。

<この動物たちは何と言っていると思いますか？>

[p. 4]

カエルは鳴く

異性を引き寄せる

春の晩、日が沈むと、池のそばでゲロゲロという鳴き声が聞こえます。それからもう 1 匹、またもう 1 匹と鳴きます。やがて、あたりはゲロゲロという鳴き声の大合唱になります。ゲロゲロという鳴き声は、オスのカエルがメスのカエルを引き寄せようとして鳴いている音です。

<注目してほしいとき、みなさんだったらどうしますか？>

<ゲロゲーロ！>

[p. 5]

<ゲロゲロという音を出すために、オスのカエルはのどにある「囊(のう)」というところを空気でいっぱいにします。それから、その囊を「ふるわせ」て音を出します。>

<暖かい天候のとき、コオロギ類のオスは羽をこすりあわせて鳴きます。その音でメスのコオロギに「ぼくはここにいるよ」と伝えます。>

[p. 6]

ハチはダンスする

方向を教える

ハチは花の内側から「蜜」と「花粉」を集めます。それから、この食べものをもってハチの巣に戻ります。巣では、ほかのハチたちに花のありかを教えます。どうやってでしょうか？ 踊るのです。

<みなさんだったら、ことばを使わずに、どうやって方向を指示しますか？>

[p. 7]

<そのダンスは、ほかのハチたちに、どのくらいの距離をどちらの「方向」に飛んでいけばいいの

かを教えます。>

<方向>

<飛ぶ距離>

<アリは食べものを見つけると、「化学物質の跡」を地面に残しながら巣にもどります。ほかのアリたちは、食べものまでその化学物質のにおいをたどります。>

[p. 8]

ヘビはふくらます

近寄るな！

動物の中には、自分がこわがっているときに、自分をこわく見せたり、強く見せたりするものがあります。これは、「近寄るな！」という警告です。

ヘビをこわがる人がいます。でも、ヘビもこわがっているのです！ フクロウが空から急降下してくると、こわがるのはヘビのほうです。フクロウはヘビが大好物です。では、どうやってヘビは自分の身を守るのでしょうか？ 首をふくらませて持ち上げ、大きく、残忍そうに見せるのです。

<自分がこわがっていることをだれかに知られたくないとき、みなさんだったらどうしますか？>

[p. 9]

<ガラガラヘビはちがったやり方で「近寄るな！」と言います。しっぽをガラガラ言わせて、威嚇する音をだすのです。それで効きめがない場合には、相手にかみつきます。>

<フクロウは羽をひろげて、より大きくより残忍そうに見せます。「おれとかかわり合いになるな！」と言っているのです。>

[p. 10]

鳥は気どって歩く

注目される

多くのオスの鳥は、注意をひきつけるために、みごとな羽をもっていたり、めだつ色をしていたりします。

オスのクジャクは、メスに「よい印象をもってもらう」ために、尾羽を広げて、行ったりきたり気どって歩きます。クジャクのオスの羽は 200 本以上あります。そのひとつひとつの羽が、目玉のようにみえる美しい模様で飾られています。

<オスのクジャクが羽を見せびらかしているときは、「ぼくを見て！」と言っているのです。>

<みなさんだったら、どうやって「友だちになろう」と言いますか？>

[p. 11]

<アオアシカツオドリは、美しい青い足を見せびらかして、メスの気を引きます。>

[p. 12]

キツネザルはにおいをだす

印をつけてなわばりを示す

キツネザルはにおいで話します。わきの下に「腺」というものがある、強烈なにおいをだします。

キツネザルはこのにおいをしっぽにつけます。そして、そのしっぽを振りまわします。このにおいは、よそのグループのキツネザルに対する「ここはぼくの場所だ。近寄るな！」という警告です。

<あなただったら、「ここはぼくの場所だぞ」というメッセージを、どうやって残しますか？>

[p. 13]

野生のキツネザルは、アフリカ沖のマダガスカル島でしか見られません。30 匹で群れをつくって、他のキツネザルからなわばりを守ります。

<ヤマライオンは土や葉っぱの山に「おしっこ」をして「なわばり」の印とします。そのにおいが、他の動物に対して「ここは自分のなわばりだ。入ってくるな！」という「合図」になっています。>

[p. 14]

サルは遠吠えする

連絡をたもつ

ホエザルは木のでっぺんに住んでいます。一日中、ホエザルの群れは森の中を移動します。くだものを食べ、たがいに毛づくろいして、うるさく音をだします。

<ホエザルは中南米に住んでいます。世界でいちばん声の大きな動物のひとつです。>

[p. 15]

ホエザルは、とても大きな声でほえたり、うなったり、遠ぼえしたりするので、その声は 3 キロメートル以上先まで届きます。ホエザルたちは、何を言っているのでしょうか？ ほとんどの場合、他の群れに自分たちの居場所を知らせているのです。

<ハイエナはおしゃべりが大好きです！ 遠ぼえしたり、キィキィ声をだしたり、笑うような声を上だしたりします。ハイエナは笑うような声をだすので、「ワライハイエナ」と呼ばれます。

<みなさんだったら、自分の居場所をどうやって知らせますか？>

[p. 16]

イルカは笛を吹く

いっしょに行動する

イルカは「噴気孔」の下で空気を動かして笛吹き音をだしたり、キィキィ声をだしたり、うなったり、カチカチというクリック音をだしたりします。こうした音をだして、イルカはたがいにコミュニケーションをとったり、食べものを見つけたりします。

<みなさんは友だちや両親とのあいだに、特別な合図はありますか？>

<噴気孔>

[p. 17]

<イルカは、それぞれ自分だけの特別な笛の音をもっています。ときどき、赤ちゃんイルカは泳いでいてお母さんから離れすぎてしまうことがあります。そんなとき、お母さんイルカは「どこにいるの？」と笛を吹き、赤ちゃんイルカは「ここだよ」と笛吹きで答えます。

<オスのザトウクジラは、最長で 30 分も続く歌をうたうことができます。繁殖期にメスを引き寄せるために、こうした歌をうたうのです。>

[p. 18]

ゾウは低く重い音をだす

メッセージを送る

ゾウは、のどと鼻を使って、少なくとも 25 種類の違った呼び声をだすことができます。ある呼び声は「こんにちは」という意味です。別の呼び声は「どこにいるの？」という意味です。

<ひと休みしたあと、お母さんゾウは家族に「行くわよ」と言います。>

[p. 19]

ゾウはまた、人間には聞こえない低く重い音をだします。けれども、他のゾウたちは、10 キロメートルくらい離れていても、その音が聞こえるのです。

< 科学者たちは、たとえばここにあるカバのように、動物の中には天災を予知できるものがあると考えています。そういった動物たちには、竜巻や地震の起こす低く重い音が聞こえるからです。>  
< みなさんだったら友だちに会えてうれしいとき、どうやってあいさつしますか？ >

[p. 20]

あなたのネコはなんと言っているか

みなさんはネコを飼っていますか？ どのくらい自分の飼っているネコのことを知っていますか？ それぞれの写真を見て、考えてみましょう。ネコは何と言っていると思いますか？ みなさんの答えを下にチェックで書き入れてください。

1

- a)「編みものを習いたいな」
- b)「これ、たのしい」
- c)「どいてよ！」

2

- a)「この本を読むのが待ち遠しいよ」
- b)「ここは居心地が悪いな」
- c)「ぼく以外のものに気を取られててイヤだな」

[p. 21]

3

- a)「ぼくおびえてるからこわく見せてるんだ」
- b)「ブルブル。寒いよ」
- c)「遊ばない？」

4

- a)「かゆいよ」
- b)「きみはぼくのもだち」
- c)「退屈だなあ！」

答え

1-b, 2-c, 3-a, 4-b

[p. 22]

あなたのイヌはなんと言っているか

みなさんはイヌを飼っていますか？ どのくらい自分の飼っているイヌのことを知っていますか？ それぞれの写真を見て、考えてみましょう。イヌは何と言っていると思いますか？ みなさんの答えを下にチェックで書き入れてください。

1

- a)「遊ばない？」
- b)「ご主人さま、おじぎします」
- c)「なにか落っこしたみたいだな」

2

- a)「ぼくにちょっかいたすなよ。本気で怒ってるんだぞ！」
- b)「ちょっと動転してるんだ」
- c)「ぼくの歯、好き？」

[p. 23]

3

- a)「いつも片ほうにかたむいちゃう」
- b)「そのジョークはわからなかったな」
- c)「あの音、聞こえた？」

4

- a)「お会いできてうれしいです」
- b)「ぼくのことかまって！」
- c)「あっちですよ」

答え

1-a, 2-a, 3-c, 4-b

[p. 24]

用語集

blowhole イルカの頭頂部にあり、そこをとおして呼吸をする穴

chemical trail ある場所から別の場所への道を示すために動物が出すにおい

communicate 情報を伝えること

direction 何かが向かっている道

gland 人間や動物の身体にある器官

impress だれかに何かがとてもよいと思わせること

nectar ハチが蜜をつくるために使う花のもつ甘い液体

pollen 花のなかにある黄色い粉

sac 動物の体の一部で、袋のようなかたちをしており、空気や水が入る

signal 情報や指示、警告をあたえること

territory 人間や動物が所有したり、使用したりしている土地

urinate 膀胱(ぼうこう)にたまった不要な液体を処理すること

vibrate ゆれること

<読んだあとで>

読んだあとで、この本についてお子さんと話しましょう。こんな質問をしてみましょう：

- ・この本のどの部分が、いちばんおもしろかった？ その理由は？
- ・この本を読んで、どんなことを学んだ？

この話をまた読んでみようとお子さんにすすめてください。読む自信をそだて、つかえずに読めるようになります。

<ほかにすること>

- ・みなさんが飼っているペットや好きな動物がことばを話せるとしたら、どんなことをみなさんに話すと思うか、考えてみましょう。